

橋本高等学校

実施日時	令和元年 8月 29日(木)
参加者	生徒200名、教職員20名、計220名
実施内容	炊き出し・配膳訓練、応急手当訓練、マイトイレ作成

ねらい

1、本校では毎年1年生を対象として防災スクールを実施している。また、実施日については地域住民とのつながりや交流を深めるため、全校生徒を対象とした避難訓練を午前中に実施し、地域の方々とともに消防署員から毛布を用いた救急搬送、市役所の職員からは避難場所や備蓄品などについて講義をうけ、午後に防災スクールを行うこととした。

防災スクールの実施内容については、本校が地域の避難場所になっていることや阪神淡路大震災・東日本大震災の教訓から、炊き出し配膳訓練、マイトイレ作り、三角巾による応急手当、パーティション組立を行うこととした。

そのため、1クラスについて10名1班とし、学年で20班を編成し班ごとにアルファ化米、マイトイレ作り、応急手当、パーティション組立の責任者を決め、事前に担当生徒に講習会を実施することとした。

主なプログラム

- 1、炊き出し配膳訓練
- 2、マイトイレ作成
- 3、三角巾による応急手当
- 4、パーティション組立

概要

- 1、炊き出し・配膳訓練

各班から選ばれたアルファ化米担当生徒20名が調理室で炊き出し・配膳訓練を行った。午

前中に全校の避難訓練を実施したが、時間の都合上、避難訓練中からアルファ化米にお湯を注ぐこととした。家庭科の教員を中心とした担当教員とアルファ化米担当生徒との事前の打ち合わせどおり当日の準備、運営はスムーズにできた。

- 2、マイトイレ作り・三角巾による応急手当、パーティション組立

1学年を2グループとし、体育館を2面に分け、舞台に向かって前方でマイトイレ作りと三角巾による応急手当、後方でパーティションの組立を実施した。設定時間は各50分とし、その後感想文を書かせた。両方とも事前に講習会(説明会)を開き、当日のスムーズな運営をはかった。

参加者感想文

・災害が起きたら、何が起きるかわかりません。もしかすると、いつも使っているトイレがこわれてしまうかもしれないし、家族や友人がけがをしてしまうかもしれません。そして、家にはいられなくなってしまうかもしれません。今日は、そんな時に役立つ、いや必要になることを学びました。まずは、パーティションについてです。専用の段ボールをくっつけ1つ1つ部屋を作っていきます。これは、避難時にはとても大事なことになってきます。1人1人のプライベートを守りつつ、快適に過ごせるような環境を作らなくてははいけませんし、すばやく正確に

作ることも必要になってきます。次はマイトイレ作りです。簡単に手に入る新聞紙を使いますが、とても役に立ちます。そしてトイレは誰もが必要なので知っておく必要があると思いました。最後は三角巾での傷の応急手当の仕方です。これはきれいさと早さが求められると思いました。今回、習ったことは全て災害時には必要になるし、自分が知っていれば人にも教えることができるので、きちんと身につけていきたいと思います。

・近いうち、私達の住む橋本市には南海トラフの大地震がやってくると言われています。私はあの歴史に残った大地震、東日本大震災で「地震」というものに対する考え方が変わったような気がします。「だれか」や「どこか」で起こるのではなく「私」にも地震は襲ってくる、と思えるようになったのです。しかし、具体的に地震が起こったとしてどう行動するべきなのか分からない部分もありました。そんなときに、この防災スクールを通して、地震のとき私が行動すべきことを学べたので、非常に役立つ貴重な体験だったと思います。初めに私が体験したのは避難場所で避難者個人個人のプライベートを守るための区切り作りです。東日本大震災の避難所でもよくテレビ等で映し出されていました。実際自分の手で組み立てていくと、とても簡単な区切りで段ボール素材だったので、「こんな小さくてやすい壁一つでプライベートって守れるのだろうか」と心配になりました。大きくて厚い家の壁からこの区切りへの差は、私だったらストレスを感じかねないなと思いました。また、私達は自由に組み立てるとき、何の考えもなしに適当に組み立ててしまったのを見て、先生が、「避難者全員のプライベートを守るため、全て平等な敷地、無駄なスペースを作らない、この2つが大切なんだよ。」と言って

いたのがとても納得し、印象に残りました。次の体験は応急手当でした。あの三角巾1枚で様々なたたみ方や用途があり、とても驚きました。友達にも手伝ってもらい腕の応急手当をしたのですが、やはり難しかったです。本当の緊急時に備え、正確な知識を身につけておくべきだと思います。最後に体験したのは、マイトイレ作りです。新聞紙で箱を作っただけのおもちゃのようなトイレでしたが、地震のときには役立つものなのだと思うと、地震が起こったときの大変さを強く感じました。このように、私には地震が起こる前から知識をつけ、体験しておくことで本当に起こったとき、的確に冷静に判断できるのだろうなと思いました。避難訓練、応急処置、被災時の工夫と今日はたくさんのことを学べて、また一歩防災への知識が増え、とても良い体験となりました。

成果と課題

【成果】

生徒たちは、真剣にみんなで協力しながら各訓練に取り組んでいた。また、多くの生徒が災害時に活かせる良い体験ができたと感想文に書いており、今後万が一災害が起こった時にまずは自分の命を守るとともに、地域の方々に助け支えることのできる若者になってくれると思っています。

【課題】

時間の関係で午前中の全校生徒での避難訓練に地域の方々に参加していただいているのですが、今後可能であれば、午後の防災スクールにも何らかの形で参加していただき、災害時を想定した活動を生徒と一緒に行うことができれば、さらに地域と連携した活動になっていくと考えています。



炊き出し配膳訓練



パーティション組立



マイトイレ作成



三角巾による応急手当